**「オリンピック・パラリンピック委員会」の設立について**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　会　長　　　　秋山　哲男

**目的**

　１９６４年（11月8日-12日）に日本の東京で開かれた第２回の夏季パラリンピックから５０年を経て２０２０年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されることになりました。当時のパラリンピックに導入されたリフト付きバスや視覚障害者が全力で走っている姿を日本の障害者が見て、少なからず影響を受けたと野村歓先生から伺いました。このオリンピック・パラリンピックがその後のバリアフリーが進むきっかけになったのも事実です。２０２０年のオリンピック・パラリンピックを契機に我が国のバリアフリーやモビリティの水準の向上に何らかの役割を果たす重要なチャンスと考え、重点的に取り組むことにします。

　オリンピック・パラリンピックは多様な分野がございますので、学会として

委員会をつくり組織的に対応することを行ないます。また、今後学会にパラリンピックなどの対応窓口としても作っておく必要がございます。

**＜進め方＞**

１・方法：オリンピック・パラリンピックに関わる様々な情報収集と研究を行う。

　　予算がありませんので全て自腹で進めます。将来は予算を確保したいと思います。

２・会議：基本的に月1回程度の会議

３・組織：スタートは学会長が委員長として委員会を立ち上げます。

　　組織のメンバーは20名程度とします。

**＜申し込み＞**

必要事項を記入し、学会事務局までお申込みください。

　氏名：

　所属：

　連絡先：メール・電話・住所

　参加の理由：400字程度

**＜締め切り＞**　　５月１５日

**＜申し込み先＞**

　一般社団法人　日本福祉のまちづくり学会本部事務局

　E:mail　　jimukyoku@fukumachi.net